



医療連携だより [アシスト] **ASSIST**

2013.12.30
No.30

帝京大学医学部附属病院

第3回 帝京大学医療連携セミナー開催



患者中心の医療

安心安全な高度の医療

患者そして家族と共にあゆむ医療

医療人の育成

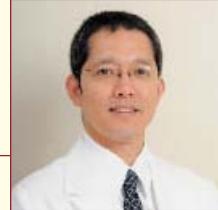
地域への貢献

Contents

- れんけいトピックス
2 帝京大学医療連携セミナーを終えて
帝京大学医学部附属病院 医療連携・相談部長 佐野 圭二
- 3 ハイブリッド手術室が切り開く新たな治療
心臓血管外科 講師 今水流 智浩
- 4 術後の回復が早い低侵襲心臓手術で早期退院が可能
心臓血管外科 助教 松山 重文
- 5 ハイブリッド手術室によってさらに進化する脳卒中治療
脳神経外科 准教授 上野 俊昭
- 6 編集後記

帝京大学医療連携セミナーを終えて

帝京大学医学部附属病院 医療連携・相談部長 佐野圭二



平成25年10月29日、池袋のホテルメトロポリタンにて第3回帝京大学医療連携セミナーを開催いたしました。地域の医療機関の方々289名のご参加を賜り、盛会に終わりましたことをまず御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

当院医療連携セミナーのミニヒストリー

今から3年前、当時の医学部長の寺本民生先生が第1回の開催を平成22年10月に予定されご尽力されました。が、耐性菌院内感染の件で延期となりました。そしてその1年後、平成23年10月1日に念願の第一回帝京大学医療連携セミナーを当院の病院内で開催いたしました。そのとき寺本前医学部長と中込忠好病院長とが選ばれたテーマが、大胆にも「耐性菌を封じ込めろ!」であり、「回目に何かわらず院外からも172名の方々にご参加いただき、建物のみならず中身も生まれ変わった「New帝京大学病院」を実際に見て感じていただきました。第2回が昨年10月31日、今年と同じホテルメトロポリタンで行いました。メインテーマが「予後改善を目指す」といってお話を進めてきました。

して「心臓リハビリテーション」で、院外から220名の方々にご参加いただきました。

今年のセミナーについて

今年のメインテーマは「今、求められる高度医療の最前線」ということで、昨年度から当病院で稼働している「Hybrid手術室」の現状を、脳神経領域と心臓血管領域の二領域から報告していただきました(詳しくは同誌の各稿をご覧ください)。報告会からすでにほぼ満席で、ご参加いただきまして皆様には大変窮屈な思いをしていただきましたが、最新鋭の機器を用いた救急医療の進歩に対して、大きな期待を込めて温かい拍手を頂きました。

懇親会にも多くの皆様にご参加いただきました。帝京大学病院職員は医師・看護師・薬剤師・技師・事務など各セクションのトップ27名、准教授はじめ副部長15名をはじめ88名でお迎えし、文字通り全病院を挙げて、「顔の見える連携」を達成することができました。

おわりに ～当院のセミナーの特徴～

第一回からわれわれのセミナーの特徴は変わりません。

①手作り感あふれるムード

②「連携コンシェルジュ」部隊による「あの人会いたい」の実現

③主役である「院外の皆様」を、病院内各セクションの代表者をはじめ多職種全職員で「お迎え」する気持ちで、来年もまた皆様とお会いしたいと思います。今後とも当院との医療連携に協力いただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



▲懇親会

PROFILE

帝京大学医学部附属病院 医療連携・相談部長 佐野圭二

平成2年東京大学医学部卒。東京大学医学部附属病院、静岡県立総合病院、国立がんセンター中央病院に勤務して、東京大学医学部肝胆脾外科・人工臓器移植外科講師に。平成19年日本赤十字社医療センター外科に移ったのち、平成22年4月より帝京大学医学部外科学講座教授として着任。平成23年4月より帝京大学医学部附属病院の医療連携・相談部長を兼任。



▲連携コンシェルジュ

ハイブリッド手術室が切り開く新たな治療

心臓血管外科
今水流

講師
智浩

演者



- ①循環器センターは、心臓・血管疾患に都内23区内に限らず、24時間、緊急症例にも対応します。
②榎原記念病院と連携し、高い医療品質と最新治療を提供します。

胸腔や腹部を切開する必要がない、手術です（写真2）。この方法だと、胸部や腹部を切開する必要がなく、手術室で行われている、ハイブリット手術室を活用した最先端治療をご紹介します。

大動脈ステントグラフト手術

ステントグラフトとは人工血管にステントといわれるバネ状の金属を取り付けたもので、これを患者さんの脚の付け根を2～3cm切開して動脈内に挿入し、動脈瘤を血管内から治療できる最先端の手術です（写真2）。この方法だと、

最新の医療技術にも対応する全くなっています。入院期間もわずか1週間と短く体力の損失も最小限に抑えられます。

新鋭ハイブリッド手術室の運用を開始しました（写真1）。ハイブリット手術室とは、本来の手術室の機能と血管造影装置を機能的に組み合わせた手術室のことです。それぞれ別の場所に設置されていたものを合わせることで相乗効果を増し、麻酔科の高度管理のもと、最新の医療技術にも対応する全くなっています。入院期間もわずか1

帝京大学では、2012年12月にアジア太平洋地域で初導入になるPhilips社製高性能TTO20&Flex moveの血管造影装置とマツケ社製手術台を組み合わせた最

身体にかかる負担が極めて少なくなります。入院期間もわずか1週間と短く体力の損失も最小限に抑えられます。

経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)

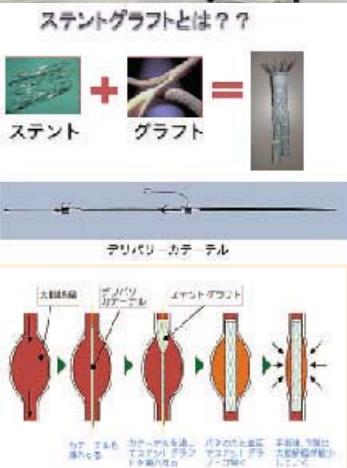
TAVIは、重症の大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法で、開胸（胸の中央の骨を縦に切開すること）することなく、また心臓も止めることなく、カテーテルで生体弁を患者さんの心臓に留置する、最先端治療です（写真3）。

まで治療が難しかった患者さんの元気を取り戻すきっかけとなり、地域や社会で元気に活躍する高齢者が増える一助となることが期待できます。本年12月には全国に先駆けて開始される予定です。

ほかにも、重傷心不全に対する補



▲写真-1



▲写真-3
TAVIで使用する人工弁

PROFILE

心臓血管外科 講師 今水流 智浩

平成7年筑波大学医学群卒業。筑波大学附属病院レジデンント、東京厚生年金病院外科、筑波大学循環器外科助手、桐生厚生総合病院診療部長、筑波メディカルセンター病院主任医長を経て2011年より帝京大学医学部心臓血管外科学講座助手、2012年より現職および医局長。

胸部・腹部大動脈ステントグラフト実施医・指導医、血管内治療認定医。治療に関する些細なことでも、ご相談ください！



動脈弁狭窄症は通常開胸手術で人工心肺を使用し大動脈弁を切り取り、代わりに人工の弁を縫い付ける弁置換術を行い、治療します。しかし高齢や合併症などが原因で従来の開胸手術が出来ない、または極めて難しい患者さんは、これまで薬で病気の症状を和らげる対症療法しかできませんでした。大動脈弁狭窄症はとくにお年寄りに多い病気ですが、高齢化が進む日本において、TAVIによりこれまで治療が難しかった患者さんの元気を取り戻すきっかけとなり、地域や社会で元気に活躍する高齢者が増える一助となることが期待できます。本年12月には全国に先駆けて開始される予定です。

ほかにも、重傷心不全に対する補助人工心臓（VAD）治療や低侵襲手術（MICS）、ロボット手術なども榎原記念病院等と協力し推進しています。

我々、帝京大学心臓血管外科では大学病院でしかできないこと、やるべきことをさらに推進し、病気になつて頑張つてきますので、「新生！帝京大学循環器センター」にご期待いただきたく、いつでもご相談ください。

Cardiovascular Surgery

術後の回復が早い低侵襲心臓手術で 早期退院が可能

心臓血管外科 助教
松山 重文

近年の医学の進歩はめざましく、患者さんへの侵襲を軽減する治療が数多く開発されています。心臓外科領域でも大動脈瘤に対するステントグラフトや、大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁埋め込み術などが登場し、今まで治療困難であった重症患者さんに対しても治療が行えるようになってきました。また、近年は高齢化社会の到来や食生活の変化などで循環器疾患が増加し、心臓手術の数は増加傾向にあります。その中で従来の心臓手術も患者さんへの侵襲を少なくする努力がなされています。低侵襲心臓手術と呼ばれるもので心房中隔欠損症や僧帽弁疾患に対する右小開胸手術や、大動脈弁疾患に対する正中小切開手術などが行われており、帝京大学心臓血管外科でも適応のある患者さんは積極的に行っています。これらの手術は従来法のような大きな皮膚切開、胸骨（胸の真ん中の骨）切

開の必要がなく、手術創も5～10cm程度ですみます。そのため術後の疼痛が少なく、呼吸機能等の回復が早いため手術後1週間程度で退院が可能です。

さらに、帝京大学心臓血管外科では本年よりロボットシステムを用いたロボット補助下冠動脈バイパス術を開始いたしました。冠動脈バイパス術は昨年、天皇陛下が受けられたことで広く知れわ

米では広く行われるようになつてきましたが、日本ではまだ数施設でしか行われておらず、帝京大学で多くの患者さんに提供できればと考えています。これらの低侵襲手術はまだまだ限られた患者さんにしか適応とはなりませんが、今後さらに発展させ多くの患者さんがその恩恵をうけることができるよう努めていきたいと思ひます。



▲ロボット補助下冠動脈バイパス術の様子



▲ロボット補助下冠動脈バイパス術の創部

PROFILE

心臓血管外科 助教 **松山 重文**

2000年3月、佐賀医科大学医学部(現佐賀大学医学部)卒業。
同年佐賀医科大学医学部胸部心臓血管外科入局。九州医療センター外科、福岡和白病院心臓血管外科、長崎光晴会病院心臓血管外科等を経て2008年4月～榎原記念病院心臓血管外科、2012年5月～現職

資格:外科専門医、心臓血管外科専門医、循環器専門医



Neurosurgery

ハイブリッド手術室による たひに進化する脳卒中治療

脳神経外科
准教授
上野 俊昭



さてますが、全身麻酔下で患者さんが無動化されているときわめて正確に作動します。車でいえば、GPS付きの高価なナビを搭載した高級車に乗っているようなものです。また治療には手技中における合併症が避けて通れませんが、

全身麻酔下で行つていれば術者は冷静に手技に集中して対応することができます。また、重篤な後遺症を回避する確率が高くなります。やむを得ないときには、血管内手術から直達手術への切り替えも移動することなく可能です。周囲のスタッフも直達手術に習熟しているものばかりですから対応も迅速かつ正確に行えます。



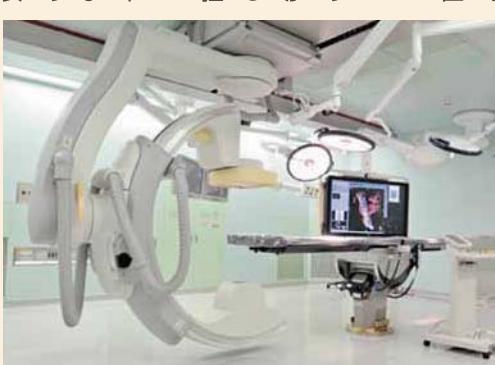
Flex Moveという機構を付けたシステムが導入されています。これは国内第1号機です。

血管撮影室でこれまで行つてきた血管内手術は近年目覚ましい進歩を遂げており、適応範囲は大きく広がっています。当院における脳卒中治療を例にあげれば、脳動脈瘤の破裂予防のために開頭クリッピング術（直達手術）とコイル塞栓術（血管内手術）がありますが、当院ではハイブリッド手術室導入以前より6～7割の症例でコイル塞栓術が選択されています。頸動脈狭窄症に関してはほぼすべての症例でステント留置術が選択されています。

ハイブリッド手術室の導入により、これらの脳血管内手術が全直達手術のための手術室を組み合わせたものを指します。当院のハイブリッド手術室には、Philips社製のX線血管撮影装置（Allura Xper FD20）を手術台の周り

これまで当院での脳血管内治療チームは、多くの症例に対応してきており、帝京大学病院に位置する東京都の西北部2次医療圏（板橋区、北区、練馬区、豊島区）のhighvolume centerとしての役割を担つてきました。ハイブリッド手術導入によって、従来の治療をより安

帝京大学病院に待望のハイブリッド手術室が導入されて、平成25年1月より稼働を開始しました。ハイブリッドといつのは「ひとの異質なものを組み合わせての田舎的を成すやう」（Wikipedia）を意味しますが、いじだこのハイブリッド手術室とは血管撮影室と直達手術のための手術室を組み合わせたものを指します。当院のハイブリッド手術室には、Philips社製のX線血管撮影装置（Allura Xper FD20）を手術台の周り



PROFILE

脳神経外科 准教授 上野 俊昭

平成元年東京大学医学部医学科卒業後、東京大学医学部附属病院脳神経外科で研修。平成2年から東京警察病院脳神経外科に勤務して脳神経外科学会専門医および医学博士号（東京大学）を取得。その後、米航空宇宙局（NASA）エームス研究所で頭蓋内圧に関する研究をしたのち、国際宇宙ステーションプロジェクトに宇宙開発事業団招聘研究員として参加。平成11年より東京警察病院脳神経外科にて脳血管内治療のトレーニングを受けて、平成14年よりカリフォルニア大学サンディエゴ校メディカルセンターへ留学後、平成16年より帝京大学医学部脳神経外科講師として着任。平成20年より同准教授。現在にいたる。

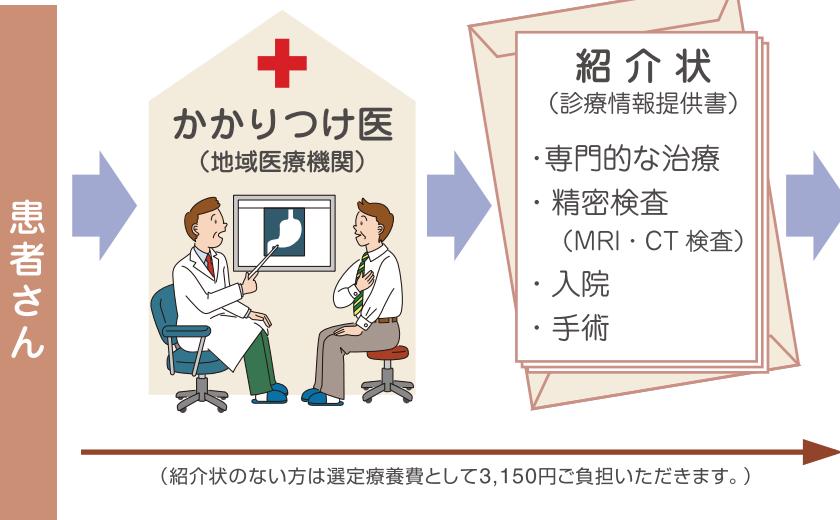


帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約*ができます。

*事前にお電話下さい

受診までの流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



帝京大学医学部附属病院
予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付 平日 8:30~17:00
時 間 土曜日 8:30~12:30

初診受付

平日 (予約あり)	8:30~14:30
(予約なし)	8:30~11:30 13:00~14:30
土曜日	8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ①予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。
電話予約の際にご確認させていただく項目
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ②予約完了
- ③当日は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎初診受付
診療受付時間 平日 8:30~11:30/13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30
直接初診受付へお越しください。
※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。

アクセスマップ



- JR埼京線
「十条駅」より徒歩10分
- 地下鉄都営三田線
「板橋本町駅」より徒歩13分
- 国際興業バス
王子駅↔板橋駅
「帝京大学病院前」下車
赤羽駅西口↔王子駅
「上十条4丁目」下車徒歩3分
赤羽駅東口↔高円寺駅
「姥ヶ橋」下車徒歩5分
王子駅↔上板橋駅
「姥ヶ橋」下車徒歩5分
- 都営バス
王子駅↔新宿駅西口
「姥ヶ橋」下車徒歩5分
- タクシー
十条駅より基本料金内
- 車 地下駐車場を完備
(215台収容可能【有料】)
※入院手続や外来診療でお越しの方は
100分間無料(以後25分毎100円)

編集後記

寒さも厳しくなり、
いよいよ本格的な冬の到来です。

色とりどりのイルミネーションで街中も
にぎやかとなり、皆の目を楽しませてくれています。院内のコミュニティストリー
トには今年も大きなクリスマスツリーが
登場いたしました。天井にまでとどきそ
うな大きさで、緑色のライトが輝いて
います。なかには、しばし足を止められる
患者さまもいらっしゃいます。いろいろ
な目で、様々な思いを胸に見上げる方も
おられるでしょう。この帝京ツリーがご覧
になるすべての方へ癒しとなるよう願つ
ております。ご来院の際には是非お立ち
より下さい。

特定機能病院

病院機能評価Ver.6.0認定

地域がん診療連携拠点病院

東京都災害拠点病院

帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1

TEL.03-3964-1211 (代表)

<http://www.teikyo-hospital.jp/>

お問い合わせ E-mail:renkei@med.teikyo-u.ac.jp

帝京大学病院

<http://www.teikyo-hospital.jp>

医療連携だより[アシスト]

ASSIST

